

保険業界の地域連携に係る取組について

金融庁監督局保険課

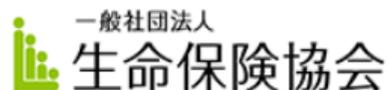
令和4年6月



1. 保険業界の強み

- ▶ 保険業界（生保・損保・少短）は、自治体等の地域の主体と連携しつつ、独自の強み・特性を生かし、地域活性化や地域課題の解決に向けて様々な取組を実施。

地域（自治体、地元住民、企業等）との連携



- ▶ 生命保険の組成や付帯サービス等を通じて得た健康データ等の活用
- ▶ 広範な営業職員ネットワークを生かした情報発信力

例えば、
✓ 健康増進
✓ 高齢者支援 等



- ▶ 損害保険の付帯サービス（ドラレコ等）や損害調査業務を通じて得たデータの活用
- ▶ 契約者へのリスクコンサルティングを通じて得た知見の活用

例えば、
✓ 防災・減災
✓ 交通安全 等



- ▶ 社会変化に伴い発生したリスクや顧客ニーズに対応した商品提供
- ▶ 家財保険の販売を通じて得た独居老人に係る諸課題への知見

例えば、
✓ 孤独死対策

2. 各財務局管内における保険業界の特徴的な取組事例 ①

北海道（北海道財務局）

保険会社	種類	取組類型
アクサ生命	生命保険会社	金融教育

金融経済

北海道内の高校が参加する「高校生金融学習発表会」を実施。当社及び東京証券取引所が、投資、ライフプラン設計や社会保障制度等の金融教育授業を参加校ごとに実施。その後、同社専任FPのサポートの下で各参加校生徒が金融学習発表を準備し、それぞれテーマに沿って金融学習の成果を発表。

<参加高校での授業風景>



(出典) アクサ生命公表資料

<参加高校での発表準備風景>



福島県（東北財務局）

保険会社	種類	取組類型
ジブラルタ生命	生命保険会社	女性活躍

体験型実技演習プログラム

次世代女性のキャリア意識形成を支援することを目的に、女子高生を対象とした体験型実技演習プログラム「Job Shadow」（米国で定着している職業教育の一種。生徒が企業の職場で従業員に密着し、特定の職種や業務について学ぶこと）を実施。福島県立高校の女生徒と当社各部門の社員がペアを組み、ミーティングや通常業務に同行。

<体験型実技演習プログラムの模様>



(写真左) 社員のデスクで仕事の様子を観察する女子高校生
 (写真右) 社員とのディスカッションで、真剣に話を聴く女子高校生

(出典) ジブラルタ生命公表資料

2. 各財務局管内における保険業界の特徴的な取組事例 ②

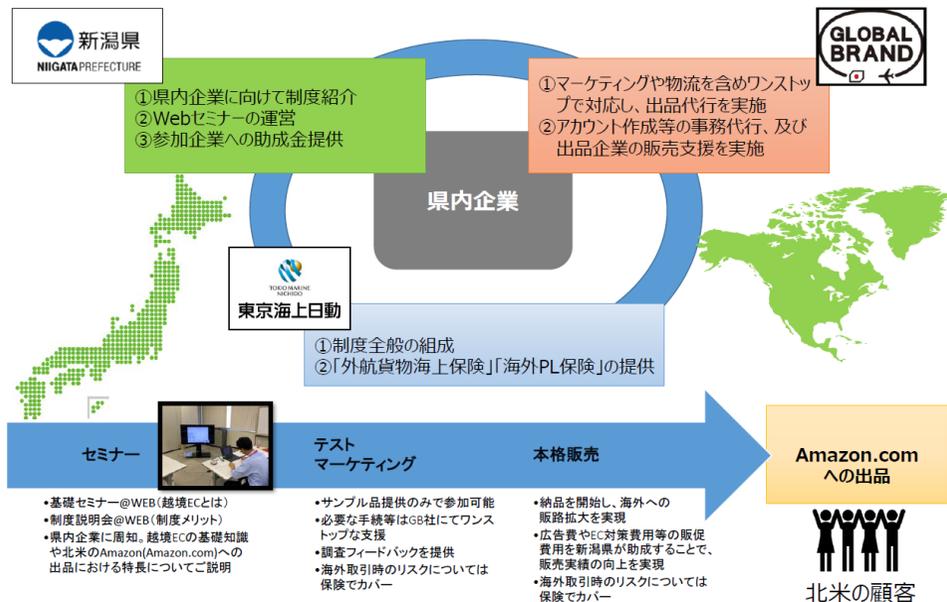
新潟県（関東財務局）

保険会社	種類	取組類型
東京海上日動	損害保険会社	海外展開支援

県と連携した米国向け越境EC支援事業

コロナ禍における県内企業の海外販路開拓の実現を目指し、新潟県等と連携して北米Amazonへの出店を支援。出品開始に向けたコンサルティングや海外ECにおけるマーケティング、保険手配等をパッケージ化して提供。

<越境EC支援事業のスキーム図>



(出典) 東京海上公表資料、令和2年度地方創生への取組状況に係るモニタリング調査結果

東京都（東京財務事務所）

団体名	種類	取組類型
日本少額短期保険協会	少短業者	孤独死対策

孤独死対策

賃貸住宅入居者の死亡による居室の損害を補償する大家向けの保険（孤独死保険）の販売をきっかけに、孤独死の早期発見・未然防止に向けた取組（現状レポートの公表やワークショップの開催等）を実施。その一環で、協会が孤独死対策サミットを主催。都内の自治体や民間事業者が孤独死対策の取組みを発表し、課題解決に向けた議論を実施。

<孤独死サミット2020>



取組みを説明する東京事務所長

(出典) 関東財務局広報資料、日本少額短期保険協作成資料

2. 各財務局管内における保険業界の特徴的な取組事例 ③

石川県（北陸財務局）

保険会社	種類	取組類型
明治安田生命	生命保険会社	福祉

Jリーグと連携した地域社会の活性化活動

石川県のJリーグサッカーチームと協力し、同県のNPO法人のフードドライブ活動（家庭で余っている飲食料品を、地域の福祉施設や子ども食堂等に届ける活動）を支援。同社職員による飲食料品の寄贈や、子ども食堂等への飲食料品の配布等を実施。

地域のフードドライブ活動をクラブと一緒に応援

開催地 石川県 協カクラブ ツエーゲン金沢 ©J.LEAGUE ©2006 ZWEIGEN



（出典）明治安田生命ウェブサイト

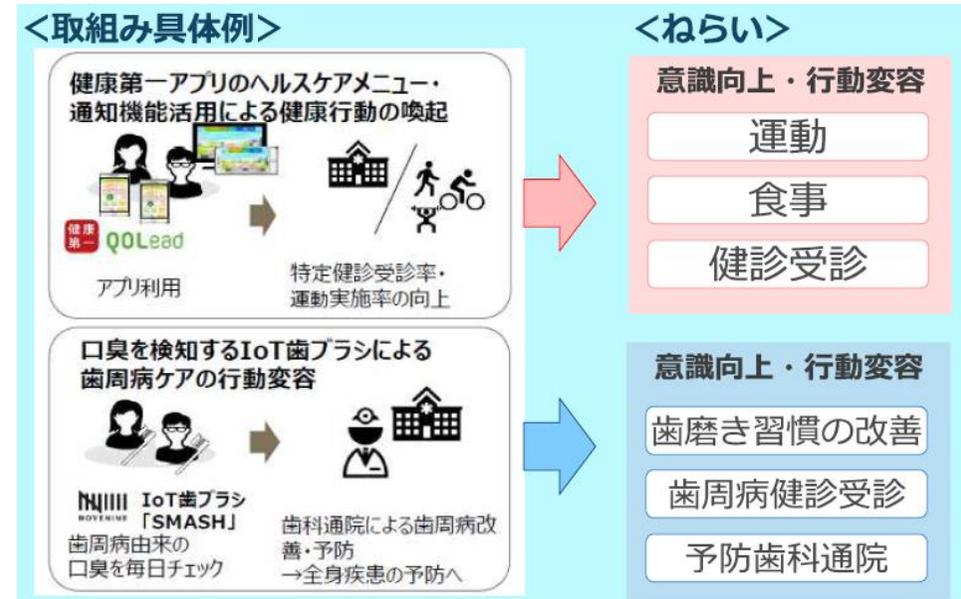
静岡県（東海財務局）

保険会社	種類	取組類型
第一生命	生命保険会社	健康増進

アプリ等を活用した健康増進・行動変容へのアプローチ

静岡県浜松市と連携し、同市在住・在勤の者を対象に、健康増進アプリを活用した特定健康検診の受診勧奨や、IoT歯ブラシを通じた歯周病ケアの促進等に関する社会実証を実施。

<浜松市における実証実験の概要>



（出典）第一生命公表資料、地方協創事例集（経団連）

2. 各財務局管内における保険業界の特徴的な取組事例 ④

滋賀県等（近畿財務局）

保険会社	種類	取組類型
三井住友海上	損害保険会社	社会問題解決

ドライブレコーダーを活用した社会インフラ管理支援

通信機能付きドライブレコーダーのデータと、東京大学発のスタートアップ企業が保有するAI画像分析技術とを活用し、滋賀県等での実証実験を経て、舗装道路の損傷箇所を自動的に検出し、自治体等における点検・管理業務を支援するサービスを開発。



（出典）令和3年度地方創生への取組状況に係るモニタリング調査結果

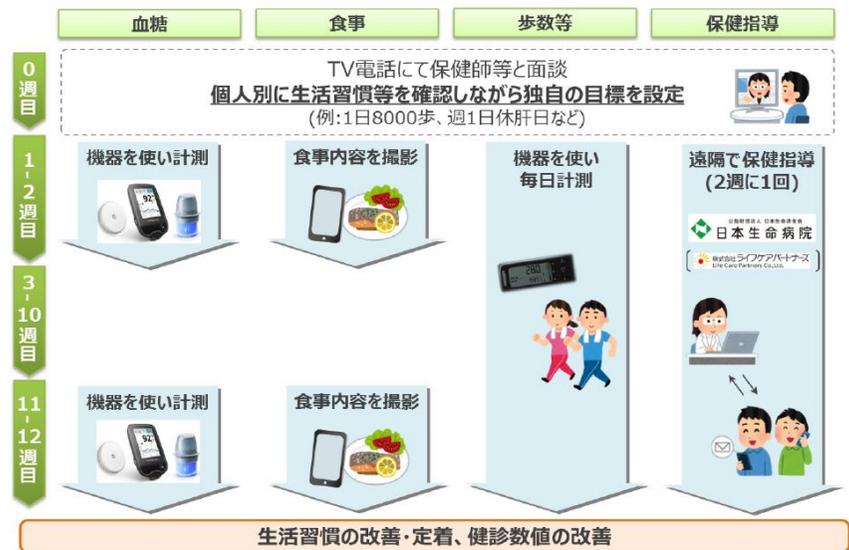
鳥取県等（中国財務局）

保険会社	種類	取組類型
日本生命	生命保険会社	健康増進

自治体・健康保険組合向け糖尿病予防プログラムの提供

糖尿病対策を推進する自治体（鳥取県、福井県等）に対し、当社が開発した糖尿病予防プログラム（糖尿病予備群を対象にICT機器等を活用して、体況のセルフモニタリングと生活習慣改善指導を行う3ヵ月間のプログラム）を提供。複数の自治体でのトライアル実施を経て、本格的にサービス展開。

《糖尿病予防プログラムの概要》



（出典）日本生命公表資料

2. 各財務局管内における保険業界の特徴的な取組事例 ⑤

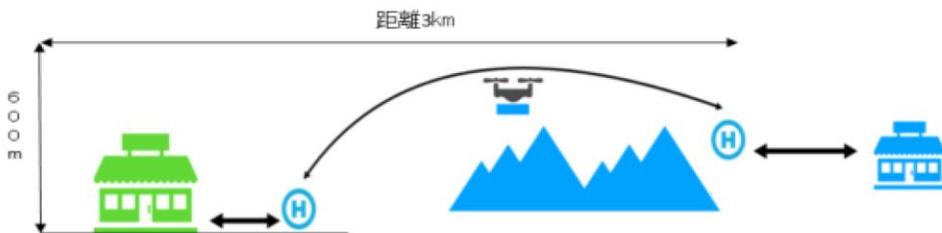
愛媛県（四国財務局）

保険会社	種類	取組類型
損保ジャパン	損害保険会社	社会問題解決

ドローンを活用した社会課題の解決に向けた取組

愛媛県新居浜市でドローンによる物資運搬実証実験を企画・実施。本実証実験を足がかりに森林上空における安心・安全な空路設定やリスクアセスメント手法の開発等を進め、山間部過疎地域での物流や山間部の自然災害時の調査などの社会課題の解決に貢献。

<実証実験のイメージ>



<実証実験の様様>



(出典) 損保ジャパン公表資料

福岡県等（福岡財務支局）

保険会社	種類	取組類型
あいおいニッセイ同和	損害保険会社	交通安全

テレマティクス技術の活用による交通安全取組支援

福岡県や佐賀県をはじめ全国各地において、テレマティクス技術（カーナビやGPS等の車載器と移動体通信システムを利用して様々な情報やサービスを提供）を活用した交通安全イベントの開催や、イベントで取得したデータを活用した「交通安全MAP」の提供・通学路の見直し提案等を実施。

全国各地でテレマティクス技術を活用した交通安全イベントを開催

- テレマティクス技術を活用した交通安全イベントを開催
- 参加者の運転挙動データをスコア化し、フィードバックすることにより、安全運転意識の向上、急アクセル・急ブレーキの減少によるエコドライブの進展を企図



<交通安全イベント>

交通安全イベントで取得したデータの活用により交通安全取組を支援

- 取得した危険挙動多発地点のデータを可視化した交通安全MAPの提供
- 具体的で実践的な交通安全取組を考案し、地方公共団体や都道府県警察へ提案



<交通安全MAP>

(出典) 令和3年度地方創生への取組状況に係るモニタリング調査結果

2. 各財務局管内における保険業界の特徴的な取組事例 ⑥

熊本県等（九州財務局）

保険会社	種類	取組類型
損保ジャパン	損害保険会社	防災・減災

AIを活用した災害被害予測システムの開発

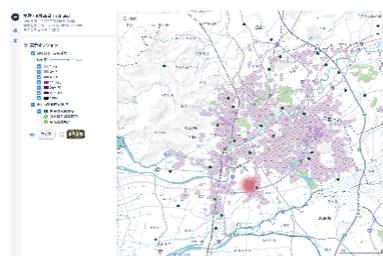
米国スタートアップ企業と共に災害被害予測システムの開発に着手。洪水による浸水被害及び地震による建物被害の予測の提供や災害発生後の正確な被害状況の把握を目指し、熊本市を含む7つの自治体で開発・実証を展開。

●サービスの概要

本システムでは、地域防災に関わる気象や建物などの各種データとAIを活用し、洪水・地震の発生前・発生時・発生後における正確な被害予測サービスと動的な被害状況の把握が、ブロック（区画）単位で可能となります。



洪水の被害予測システム



地震の被害予測システム

(出典) SOMPOホールディングスウェブサイト、地域協創事例集（経団連）

沖縄県（沖縄総合事務局）

保険会社	種類	取組類型
住友生命	生命保険会社	環境保全

サンゴ礁保全プロジェクト

世界最大級といわれる貴重なアオサンゴ群落が残されている石垣島の地元住民とともに、サンゴ礁環境の保全と持続的な地域づくりに取り組む公益財団法人世界自然保護基金ジャパンの活動を支援。資金面での支援や、同社職員有志によるゴミ拾い等のボランティア活動を実施。

世界の海を、サンゴ礁の輝く海へ
住友生命は、「サンゴ礁保全プロジェクト」を実施しています。

「海の森」と呼ばれるサンゴ礁。そこには、全海洋動物50万種のうち約25%が生息すると言われ、たくさんの生物の棲家となっています。人間生活にも豊かな恵みをもたらしてくれるサンゴ礁が、今、地球温暖化・海洋汚染・開発・自然災害などを原因として、消失が進んでいます。住友生命では、事業活動に関係の深い「生命」を守ることをテーマに、多様な生態系を有するサンゴ礁の保護に取り組んでいます。

石垣島しらはサンゴ村プロジェクト

世界最大級といわれる貴重なアオサンゴ群落が残されている石垣島。地元白保の人たちとともにサンゴ礁環境の保全と持続的な地域づくりに取り組む公益財団法人世界自然保護基金ジャパン（WWFジャパン）の活動を支援しています。

WWFは、人と自然が調和して生きる未来をめざし、約100カ国で活動する地球環境保全団体です。様々な自然保護活動を地球規模で展開する中、サンゴ礁の保全活動にも積極的に取り組んでいます。日本では沖縄県石垣島白保にWWFサンゴ礁保護研究センターを2000年に設立。人と海が調和して共存する持続的な地域づくりなどの活動を展開しています。
<https://www.wwf.or.jp>

(C) 1986 Panda symbol WWF (R) "WWF" and "living planet" are WWF-World Wide Fund For Nature (Formerly World Wildlife Fund) Registered Trademarks

(出典) 住友生命ウェブサイト